【1 班】「産業の活性化」

「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第2, 3回市民会議で参加者が記載した「改善提案シート」の内容を次のとおり分類した。
※他班で出た提案は「斜体・下線」で表しています。

1　参加者からの改善提案概要

(1)「川西の産業」の発信

課　　題		「川西市ならでは」の産業がない
改善提案	個人の取組	・ 川西市の産業をまず知る
	地域の取組	・ 特産品を特化して増産する ・ ハロウィンの際、地域単位で装飾するなどのイベントを行う。 ・ 地域で古民家等を活用し、「カワイイカフェ」を作る。 ・ 農業とグランピング施設を連携する
	行政の取組	・ 医療・健康を産業として充実させる ⇒市民の健康度をチェックする仕組みを作り、医療機関を誘致する
	その他	・ 10年後は対面での物の売り買いが減り、ネットの活用が増えるのではないか ・ 民間企業のマーケティング担当に、川西市に魅力があるか、ヒアリングをして対策をたててはどうか

課　　題		産業や特産品の認知度が市内外を問わず低い、地産地消ができていない
改善提案	個人の取組	・ どのような産業があるのか把握する ・ 特産品や川西市産の特産品をまず食べる、使ってみる ・ SNSや口コミでの情報発信を行う
	地域の取組	・ 自治会等の単位で広報を行う ・ 生産者は「川西産ラベル」を貼って売り出す ・ 生産者は特産品に触れ合える場（収穫体験や料理教室など）を用意する
	行政の取組	・ 特産品の観光農園化に取り組む事業者に助成金を出す ・ 「川西産」のものには、川西市をイメージするラベル（きんたくんなど）をつけ、ブランド化を図る ・ SNSや電車の中吊り広告など、幅広く情報配信を行う ・ 情報配信をする際は、ホームページに特産品レシピを載

		せるなど「映える」広報を行う ・ いちじくなどの特産品の関連イベント（料理教室、地元カフェでデザート製作の企画を協力など）を行う
	その他	・ *川西市の特産品は専門ショップでないと買いにくい*

(2) 働きやすい環境の整備

課　　題		市内で働ける場所が少ない
改善提案	個人の取組	・ テレワーク等、自宅周辺で働く方法を検討する ・ クラウドファンディングなどを活用し起業する
	地域の取組	
	行政の取組	・ 企業（工場・大学・IT産業等）の誘致を行い、優良企業には優遇措置を検討する ・ 企業への補助制度について、他市を参考に見直し、周知を図る ・ ネットビジネスを起業したい人向けに、オフィスや住居等のサポート制度を創設する
	その他	

課　　題		若者が減り、高齢者が増えているが、高齢者が活躍できる仕事がない
改善提案	個人の取組	・
	地域の取組	・ コミュニティなどで、有料の宅配サービスやお出かけサポートの登録・あっせんを行う
	行政の取組	・ シニア世代が子育て世帯を有料でサポートする制度を創設する
	その他	・社会教育の場として「大人が学べるまち」を目指してはどうか。シニア世代が子育て世帯へビジネスとして協力ることで、結果的に子育て世帯が増えるのではないか。

(3) 市内商業の充実

課　　題		川西市内で物を買わない、魅力的なお店が少ない
改善提案	個人の取組	・ 市内でできるだけ買い物をする ・ 魅力的なお店を積極的に利用する
	地域の取組	

	行政の取組	・ 税金の補助や優遇をして、お店が出店しやすくする（5年間程度） ・ アプリや車へのシールを見せることで、市内スーパーやドライブスルーで割引となる制度を設ける ・ 住民にアンケートを取り、住民が望むお店を誘致する
	その他	